

【学会発表一覧(植物系)】

	発表学会等	開催日時	演題	要旨	演者 (※:筆頭演者)
1	沖縄生物学会第58回大会	2021年5月29日	エダウチャガラは無菌培養での種子発芽	エダウチャガラは無菌培養での種子発芽条件について報告した。	※徳原憲、佐藤裕之、天野正晴、阿部篤志
2	日本植物園協会第56回大会	2021年6月21日	宮古島産ホソバジボグサの生息域外保全における育成時期と施肥量の検討	国内に1個体のみ自生が確認されているホソバジボグサ(マメ科)について、気温の推移と施肥量が本種の生育量、開花・登熟日、枯死率に及ぼす影響を報告した。	※佐藤裕之・具志堅江梨子・山城勝・阿部篤志
3	日本植物学会第85回大会	2021年9月16日	日本におけるヨウラクラン属の遺伝的分化	日本のヨウラクラン属の系統分類のため、日本各地から採集されたサンプルを用い形態及び遺伝子分析を行い、同属の種が分布している近隣地域、特に台湾の同属の種と比較結果を報告した。	※堤千絵、前田綾子、阿部篤志、山下由美、遊川知久、柿嶋聡
4	日本植物学会第85回大会	2021年9月18日	日本に2度やってきた国内絶滅危惧種タイワンホトギス個体群	タイワンホトギスについて、台湾・西表・沖縄本島の3集団に対し遺伝解析・トランスクリプトーム解析による保全難易度評価・光合成関連形質の比較解析を行った。国内のタイワンホトギス集団はそれぞれ固有の系統を持ち、さらに西表の集団は保全難易度が高いことを報告した。	※恒成花織、伊東拓朗、横田昌嗣、芝林真友、陶山佳久、松尾歩、阿部篤志、内貴章世、瀬戸口浩彰、牧野能士、井鷲裕司
5	日本熱帯農業学会130回講演会	2021年11月13日	沖縄県におけるフジマメ類の系統分布	沖縄県内の21か所からフジマメを収集し生育特性を調査した。白豆フジマメが粟国村、茶豆フジマメが黒島に分布することを報告した。	※高江洲賢文、玉城盛俊、砂川春樹、野原敏次、佐藤裕之、上地俊徳
6	日本熱帯農業学会130回講演会	2021年11月13日	沖縄県における在来作物遺伝資源の探索と収集	沖縄県の在来作物遺伝資源として島野菜29品目14科79系統とその他の在来作物26品目、12科、59系統を探索、収集した。	※高江洲賢文、玉城盛俊、砂川春樹、城間清
7	日本レジャー・レクリエーション学会第51回学会大会	2021年11月21日	オフィスグリーンプロジェクト運営強化を目指した取り組み - 多種多様な観葉植物の有効活用に関する報告 -	週1回程度の入替作業などで発生した枝葉の有効活用を行った。全ての枝葉で発根が見られ、苗木として有効活用できることを報告した。	※辻本悟志、横山誠、堀江久樹、石坂正大、後藤佳子、西岡ゆかり
8	第26回樹木医学会	2021年11月28日	アカギに被害する外来ヨコバイの繁殖特性と薬剤防除に関する調査研究	沖縄県内で問題となっている外来ヨコバイの産卵後の幼虫数と樹幹注入剤を用いた試験で特に幼虫に対する効果があることを報告した。	※辻本悟志、原田匠、亀山統一
9	園芸学会令和4年度春季大会	2022年3月21日	有機液肥、アーバスキュラー菌根菌およびパートナー細菌を導入した底面給水型水耕栽培におけるヨウサイ(Ipomoea aquatica Forsk.)の生育特性	有機液肥および菌根菌を用いたヨウサイの水耕栽培で慣行水耕栽培に近い収量が得られること、および硝酸イオン濃度低減の可能性について報告した。	※松原智子